

長寿命化工事が始まりました

夏休み明けに高学年棟の引っ越しが終わり、仮設校舎での生活が続いていますが、先週から工事が始まっています。これから1年間と少しをかけて、高学年棟の工事が続きます。「カーン!」という音や機械の音が聞こえてくるようになり、新しくなる校舎への希望が少しずつ高まってきますが、あまりに大きな音で、子ども達の集中が途切れなければいいな、といった心配もしています。校舎に囲いを設置されることで、登校の際、1・2年生の子ども達が、だいぶ回り道をして昇降口に向かうこともあり、不便な面もありますが、何よりも安全を第一に考え、子ども達が安心して学校生活を送れるようにしていきたいと思います。保護者の皆様がご来校の折もご不便をおかけすることがあるかもしれません。ご理解とご協力をお願いいたします。

「校舎の内部をもう一度見たい」そんな声を保護者の皆様からいただいたと聞きました。53年前に今の校舎で開校して以来、多くの子ども達が利用してきた校舎です。本校を卒業した保護者の方もおられるでしょうし、コロナ禍による制限によってまだ高学年棟の教室にほとんど入っていない方もおられることでしょう。工事前に内部を見ていただけるとよかったです。今の状況ではそれも難しくなっていました。申し訳ありません。

第3期の工事が終わって全体が完成するまで3年と少し。一番の大きな変化は、高学年棟の各階に廊下が設置され、同学年の教室が同じ階に並ぶことです。いよいよ少しずつ菅野小が変わっていきます。



5・6年運動会・持久走大会・読書旬間・なかよし月間



11月に入っても行事が目白押しです。延期されていた5・6年生の運動会は、始まる前の冷たい強い風で心配をしましたが、始まるころには次第に収まり、無事に開催することができました。これまで以上にマスクをしたり、長そで半ズボンで競技を行ったりとまたまた子ども達に迷惑をかけてしまいましたが、それでも生き生きとした躍動を見せてくれました。子ども達に、ご参観くださったご来賓や保護者の皆様に感謝致します。

その後も、持久走大会、読書旬間、なかよし月間と行事が続きました。なかよし月間では、小中学校においてLGBTQ

を深く理解していくための授業が、松本市人権男女共生課の施策として初めて行われました。多様性について学ぶ大事な機会となりました。来年度以降も行われる予定です。

21日から始まっている読書旬間では、「おはなしずがの」みなさんによる「特別なお話の部屋」が分散ではありましたが3年ぶりに体育館に集まって行うことができました。

こういった行事を通して力をつけ、成長し、情操を養っていく子ども達を見ていると、学校が果たす役割は点数に表れる学力をつけるだけではないことを、このコロナ禍の世の中において再認識させていただいていることを感じます。

保護者の皆様には、行事の参観のために頻繁にご来校いただくことになってしまいました。お仕事の調整もお手数だったかと思います。ご協力ありがとうございました。

保護者懇談会ありがとうございました

—昨年度より成績評価を前期・後期の2期で行わせていただいていることに合わせ、10月に保護者懇談会を開催させていただいております。コロナの影響により、一部の学級で急遽予定が変更になりましたことをお詫び申し上げます。春に行っている家庭訪問の実施方法も変わり、この保護者懇談会は以前にも増して大変貴重な機会となっています。いただいたお話や願いをしっかりと受け止め、今後の指導・支援に生かしてまいりたいと思います。お忙しい中、ご都合をつけていただき有難うございました。